

Library

町生涯学習センター図書室からの3月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、わらべうたなど楽しい内容です。

子育て中の保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽に参加ください。

■日時 3月14日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

第160回芥川賞受賞作品

町屋 良平著 / 『1R1分34秒』



新潮社

小説

デビュー戦を初回KOで飾ってから3敗1分。考えすぎてばかりいる21歳ボクサーのぼくの弱さに、その人生に厭(あ)きていた。でも、駆け出しトレーナーの変わり者のウメキチとの練習の日々が、ぼくを、その心身を、世界をかえていく…。主人公の内面を、丹念に映し出していく描写に引き込まれてしまう1冊です。

金栗四三が学習まんが人物館に登場

大谷 じろうまんが 水野 光博文 / 『金栗四三』



小学館

児童書

熊本県に生まれ、1912年のストックホルムオリンピックに日本人初の出場を果し、その後アントワープ、パリと合計3度のオリンピックに出場するとともに、日本人の長距離ランナー育成のために尽力した「日本マラソンの父」金栗四三の人生をまんがでたどる。92歳で亡くなるまでに走った距離は25キロと言われていました。

御船町にある福祉施設の熊本地震の記録

吉本 洋著 / 『熊本地震いのちを守る!』



マネジメント社

一般書

2016年4月の熊本地震において、御船町にある老人総合福祉施設「グリーンヒルみふね」がどのような状況に陥ったか、施設長である著者が現場責任者としてどう対処したか、職員のモチベーションをどう維持したか、これらの事実とともに30人の職員の証言も掲載。大災害時における社会福祉法人や地域の防災体制のあり方を問う1冊です。

ハンドメイドの世界が広がる1冊

『たっぷり楽しむハンドメイド小物219』



ブティック社

教養娯楽

レジンで型取るアクセサリ、オープン粘土で作るボタン、こぎん刺しの小物、牛乳パックで作るギフトボックス、羊毛で作るあたたかブローチ、水引で作るアクセサリ…。いろいろな技法で楽しむ、とっておきの工芸・手芸の作品219点を紹介。お気に入りのアイテムがきっと見つかります。ハンドメイドの世界が広がる1冊です。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私が町の図書室を利用させていただき始めて数年になります。その間色々な本との出会いがありました。

どうしても好きなジャンルに偏りがちではありますが、内容は一貫性ではあるもののその物語の中に、人が生きていく為とその指針となるべきものの発見をした時の感動に近い感情を味わっている様に思います。

今月の案内人



竹原 富美子さん
(緑町区)

本作品の中にも自分を前に出し過ぎず物事の善悪を静かに語られ、家族のまた自分の務めの何たるか

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『赤い指』(東野 圭吾著)

「家族」の物語。犯罪を越えた本当の闇。この家に隠されている真実は彼らの手で解かれなければならない。ひとつの事件から見える家族の肖像。

を知らしめてもらえた様に思います。

私はこの静かな余韻を楽しむ事が読み終える事の一歩の目的となりました。

同作者の本は何冊も読ませて頂きましたが、心地よいそれでいて感慨深い内容にいつもワクワクしています。また、次に出会う本が楽しみです。



●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか?

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶町公民館からのご案内

町民大学「講演・閉講式」

●開催日時

3月19日(火)
午前10時開会

●会場

町生涯学習センター・ホール

●講演内容

「寝たきり、
要介護予防について」

●講師

甲佐町フィットネスセンター
館長 那須 賢志さん

家庭でできる口コモ予防の運動を一緒にしましょう。軽い運動ができる格好でお越しください。たくさんの方の参加をお待ちしています。



●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)



持ちの方でもおいしく食べられる料理を提案しました。メニューを1つずつ説明しながら調理していくデモン



▲作った米粉料理を会話しながら楽しく試食する参加者

谷田病院通所リハビリテーションセンター・理学療法士の木戸俊輔さんを講師に迎え、下横田老人会13人が参加しました。

2月20日(水)下横田公民館で、公民館出前講座「介護予防のための運動」を開催しました。

町公民館出前講座 介護予防のための運動

今回は、小麦・卵・乳製品を使わない、アレルギー

ワーキング世代の講座 お弁当にも米粉料理

2月19日(火)町総合保健福祉センターで、ワーキング世代の講座「お弁当にも使える米粉料理」教室を開催しました。

ストレッチ形式で、参加者13人はレシピを見ながらメモを取っていました。小麦粉を米粉に、牛乳を豆乳に変えた豆乳グラタンや豆乳マヨネーズ、しょうゆサツマイモの蒸しパン、鶏の胸肉を使った鶏チリなどヘルシーなメニュー5種類を作り、会話をしながら楽しく試食をしました。



▲介護予防のための足のストレッチなどを学ぶ参加者

誰にでも訪れる老化に負けない食生活・寝たきりにならない生活習慣を学びました。イスに座った足の

ストレッチや膝伸ばし運動「むせない」ための準備運動で、口の中の乾燥が大敵なので唾液を出しやすくするアゴのまわりのマッサージなども学びました。木戸さんは、「身体管理・栄養・社会進出を心掛け健康寿命を伸ばしましょう」と話されました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■自分に関わりのあることとして 同和問題を考える

●芸能や文化との関わり

中世(鎌倉・室町時代)には、千秋万歳、曲舞や猿楽などと呼ばれる、歌や踊りなどの遊芸、芸能などが発達しました。また、庭園づくりなど、現在につながる様々な文化も発達しました。これらを支えたのは農業以外で生活をしてきた人たちで、封建社会体制の支配に属さないため差別されていました。

しかし、この人たちの中には、農民の間に生まれた田楽や猿楽を世界

最古の舞台芸能である能楽として大成した観阿弥・世阿弥父子、また庭師として銀閣や相国寺、興福寺等の庭を手がけたとされる善阿弥父子等、現在まで残る文化を形成した人たちが数多くいます。このように、当時差別された人たちが、今日の伝統芸能や文化に果たした功績は大きいものがあるのです。

●義務教育教科書無償運動

昭和30年代後半、憲法の「義務教育は無償である」ということについての学習を深めた、高知県の同和地区の人たちを中心に、教科書無償

の運動が起こりました。～中略～この運動は生活の安定と向上、部落差別の解消につながる取組みでもありました。やがて、この運動は全国へ広がり、ついに国会でも取り上げられました。

そして、昭和38(1963)年に「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」が制定されたのです。現在は、教科書が無償で配付されることが当然のようになっています。ここに至るまでには、このように多くの人たちの取組がかかわっているのです。

～人権研修テキスト(同和問題編)より～